

NY マーケットレポート (2017 年 10 月 16 日)

NY 市場では、序盤に発表されたニューヨーク連銀製造業景気指数が、2014 年 9 月以来の高水準となったことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。しかし、上昇は一時的となり、上値の重い動きが続いた。その後、米政府関係者と北朝鮮北米局長が、今週モスクワで会談する可能性があるとの報道がドルの押し上げ要因となった。ただ、北朝鮮は米国との外交的取り組みを当面拒否するとの北朝鮮当局者の話が報じられたことを受けて、ドルは一時上げ幅を縮小した。

米 FRB 議長人事に関しては、トランプ大統領との面談で、ジョン・テラー元財務次官が好印象を与えたとの報道などを受けて、ドルは堅調な動きとなった。また、トランプ大統領は、19 日にイエレン議長と面談する予定との報道や、前 FRB 議長のバーナンキ氏がイエレン FRB 議長の再任を支持するとの報道などもあり、次期 FRB 議長人事を巡る思惑が交錯した。

2017 年 10 月 16 日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.73	112.08	111.65
EUR/JPY	131.76	132.38	131.67
GBP/JPY	148.62	148.96	148.32
AUD/JPY	88.07	88.29	88.02
EUR/USD	1.1793	1.1819	1.1781

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	21255.56	+100.38
ハンセン指数	28692.80	+216.37
上海総合	3378.47	-12.05
豪ASX200	5846.76	+32.61
インドSENSEX	32633.64	+200.95

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7526.97	-8.47
仏CAC40	5362.88	+11.14
独DAX	13003.70	+11.83

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	22956.96	+85.24
S&P500	2557.64	+4.47
NASDAQ	6624.00	+18.20

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.16	112.29	111.67
EUR/JPY	132.31	132.37	131.72
GBP/JPY	148.65	148.73	148.18
AUD/JPY	88.04	88.10	87.78
EUR/USD	1.1797	1.1820	1.1786

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	15802.70	-4.47
ボルサ指数	49721.01	-260.93
ボベスパ指数	76891.81	-97.98

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1303.00	-1.60
NY 原油	51.87	+0.42

10/17 経済指標スケジュール

09:30 【オーストラリア】10月豪中銀 議事録
 09:30 【オーストラリア】9月新車販売台数
 09:30 【シンガポール】9月輸出
 09:30 【シンガポール】9月電子機器輸出
 11:00 【ニュージーランド】9月非居住者国債保有率
 15:00 【欧州】9月新車登録台数[EU-27]
 17:30 【英国】9月消費者物価指数
 17:30 【英国】9月小売物価指数
 17:30 【英国】9月生産者出荷価格
 17:30 【英国】9月生産者仕入価格
 17:30 【英国】8月ONS住宅価格
 18:00 【欧州】9月消費者物価指数
 18:00 【欧州】10月ZEW景況感調査
 18:00 【ドイツ】10月ZEW景況感調査
 21:00 【ポーランド】9月雇用
 21:00 【ポーランド】9月平均総賃金
 21:30 【米国】9月輸入物価指数
 22:15 【米国】9月鉱工業生産
 22:15 【米国】9月設備稼働率
 23:00 【米国】10月NAHB住宅市場指数
 05:00 【米国】8月対米証券投資

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	1.53%	1.49%
3年債	1.68%	1.63%
5年債	1.95%	1.90%
7年債	2.14%	2.11%
10年債	2.30%	2.27%
30年債	2.82%	2.81%

ドイツ10年債	0.37%	0.40%
英国 10年債	1.34%	1.37%

10/17 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10 月ニューヨーク連銀製造業景気指数 30.2 (予想 20.4・前回 24.4)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ NY 連銀製造業景気指数 ▶

現状)

10 月・・9 月・・8 月・・7 月・・6 月

業況・・・・・30.2・・24.4・・25.2・・9.8・・19.8
仕入価格・・・27.3・・35.8・・31.0・・21.3・・20.0
販売価格・・・7.0・・13.8・・6.2・・11.0・・10.8
新規受注・・・18.0・・24.9・・20.6・・13.3・・18.1
出荷・・・・・27.5・・16.2・・12.4・・10.5・・22.3
在庫・・・・・-7.8・・6.5・・-3.1・・2.4・・7.7
雇用者数・・・15.6・・10.6・・6.2・・3.9・・7.7

6 ヶ月先の見通し)

10 月・・9 月・・8 月・・7 月・・6 月

業況・・・・・44.8・・39.3・・45.2・・34.9・・41.7
仕入価格・・・41.4・・42.3・・33.3・・30.7・・33.1
販売価格・・・25.0・・18.7・・21.7・・15.7・・13.8
新規受注・・・44.8・・43.7・・41.3・・33.4・・42.2
出荷・・・・・43.4・・37.0・・42.7・・33.9・・35.0
在庫・・・・・9.4・・8.9・・0.8・・2.4・・-3.1
雇用者数・・・17.2・・13.8・・9.3・・11.8・・12.3

同指標はゼロが景況の分岐を示す

◀ 経済指標のポイント ▶

10 月の NY 連銀製造業景気指数は、市場予想の 20.4 を大きく上回る 30.2 となり、2014 年 9 月以来の高水準となった。仕入れ価格は 27.3 (前回 35.8)、販売価格は 7.0 (13.8)、新規受注は 18.0 (24.9) と前月から低下したものの、出荷が 27.5 (16.2)、雇用が 15.6 (10.6) と上昇となった。6 ヶ月先の予想も比較的堅調な伸びとなった。

0 : 50

《 要人発言 》

トランプ米大統領

- ・「歳出削減のために闘うよう閣僚らに要請した」
- ・「処方箋薬の価格は制御不能だ」
- ・「イラン合意の完全廃止、極めて現実的な可能性」
- ・「オバマケアは終わった、超党派で短期的な是正措置へ」

ECB 公的部門購入プログラム

10月13日・10月6日・9月29日・9月22日・9月15日

公的部門・・・17743.2・・・17618.6・・・17480.6・・・17429.7・・・17310.3

資産担保証券 ABS・・・247.0・・・246.1・・・240.8・・・242.7・・・245.9

カバード債・・・2339.6・・・2327.7・・・2313.1・・・2307.6・・・2299.8

(億ユーロ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場はまちまちの結果となった。英 FT100 指数は、業績見通しを下方修正した医療機器大手の株価が急落したことが全体を圧迫し、小幅安となった。一方、独 DAX 指数は企業業績の拡大期待が広がったことを受けて、小幅高となった。



出所 : Bloomberg

2 : 15

《 要人発言 》

バーナンキ前 FRB 議長

- ・「次期 FRB 議長、イエレン氏再任を支持」

3 : 15

北朝鮮、当面米国との外交的取り組みを拒否〜CNN



出所 : NetDania

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.42 ドル高の 1 バレル=51.87 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、イラク政府軍が、北部クルド自治政府と帰属を争う油田地帯の主要拠点を掌握したとの報道を受けて、中東情勢の緊張を背景とした原油の供給不安が強まり、続伸となった。



出所 : Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、米主要企業の2017年7-9月期決算への期待感を背景に、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ダウ平均株価、ナスダック総合指数はともに堅調な動きとなり、取引時間中、終値ベースの最高値を更新した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が堅調な結果となったものの、ドルの上昇は一時的となり、クロス円と共に上値の重い動きが続いた。その後は底固い動きとなり、午後に入ると円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。